

えんだより

2018年
8月号

NO. 149

シャローム三育保育園

夏祭りへのたくさんのご参加ありがとうございました。今年は梅雨明けが早く、雨よりも暑さが心配だった夏まつりでしたが、子どもたちの頑張りとお様のご協力が無事開催することができました。本当に感謝です。

これからご家族で夏休みを過ごされる方も多いかと思います。いろいろと計画もあると思いますがくれぐれも事故の無いようにお過ごしください。楽しい夏の思い出を子どもたちとたくさん作ってください。

園長 村上 渉

掲示板練習メッセージ8月1日頃配信いたします

《お知らせ》

* 8月より〇〇保育士が 産休にはいります。

今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
			1 他園交流 (5歳児)	2	3 他園交流 (5歳児)	4
5	礼拝 流しそうめん (5歳児)	7	8	9 英語教室 (3.4.5歳児)	10	11 山の日
12	13 礼拝	14	15 避難訓練	16	17	18
19	20 礼拝	21	22	23 英語教室 (4.5歳児)	24 他園交流 (5歳児)	25
26	27 礼拝 老人ホーム訪問 (5歳児)	28 体操教室	29 誕生会	30 英語教室 (3.4.5歳児)	31 保育園職員会議	



「平和への祈り」

8月といえば何を思い浮かべますか？ 夏休み、海水浴、お盆、花火大会等それぞれに8月は楽しいイベントがたくさんあると思いますが、1つ私たちが忘れてはいけない日があります。それは8月15日の「終戦記念日」です。私の父と母は戦争体験者で当時の話を良く聞かされました。特に母は北方領土の樺太に住んでいたため、終戦後もロシア兵から逃れるため山中を逃げ回り、捕虜になった後も本土に引き上げるまでの間、つらい思いをしたことを話してくれました。当時中学生だった母は生まれ故郷を追われ、心に大きな傷跡を残しました。

終戦の9日前の8月6日には広島に、6日前の8月9日には長崎に原爆が投下されました。昨年数十年ぶりに平和記念公園を訪れる機会がありました。平和記念公園には学生時代に何度か訪れたことがありますが、いつも原爆ドームや資料館の外観を見るだけでした。今回は初めて資料館に入り、1つ1つの資料をじっくり見ることができました。改めて非人道的な核兵器の恐ろしさと、今もまだ続いている目に見えない「原爆」の影響に言葉にできない恐怖を感じました。

この時期になるとテレビや新聞でも特番が組まれ、終戦記念日の15日には戦没者を追悼し、平和への願いを込めて黙祷が捧げられます。この戦争での犠牲者は日本だけでも300万人以上、世界では8,000万人にのぼるともいわれています。犠牲者には戦争の影響で飢餓や病気などで亡くなった民間人も多く含まれています。世界中で親や兄弟などの肉親を戦争で失った子どもたちがたくさんいたことは了知のとおりです。人の人生を絶ってしまう戦争は絶対にしてはならない事です。

今年もまた終戦から73周年目の終戦記念日が巡ってきます。戦争体験者の方も年々減っていき、直接話を聞く機会も少なくなりました。この大戦による多くの尊い命の犠牲の上に今の生活があることを忘れてはいけません。そして私たちはこの悲劇を繰り返さないためにも後世に伝えていく責任があります。まだ、子どもたちには理解できないことかもしれませんが、いのちの大切さや平和について語り合い、戦争の無い未来を作っていくためには何ができるか考える日にしたいものです。

園長